

八戸の人びとの88ストーリーズを掘り起こそう！



きぐスケ！ かぐスケ！ かたるスケ！

「かたる」は、南部弁で「参加する」という意味！

# はちのへスケエターず

八戸に繰り広げられてきた人びとの物語を聞いて書いて取材してくれる市民ボランティアを募集します！

はっちでは、開館10周年を迎える平成32（2020）年度を目指し、子どもからご高齢の方々までご参加いただいて、壮大なスケールの作品群を制作するプロジェクトを計画しています。地域独自のあの表現手法、八戸三社大祭を彩る山車を造形する市民力に光を当て、八戸固有の物語を表現しようという試みです。

2020年はオリンピックイヤーでもあります。オリンピックはスポーツと文化の祭典。東京オリンピック開催に伴い世界から訪れる人々に、市民参加の文化創造プロジェクトで八戸の魅力を発信します。そして、八戸市民がみんなの力で、足元にある目に見えない宝物を確かめあいます。

2020年を目指して、まず今年度は、作品制作の基礎となる市井の物語を取材・収集します。そこで、八戸市内のさまざまな人材を訪ね、取材し、物語として文章にまとめる市民ボランティア『はちのへスケエターず』を募集します。みなさまのご参加をお待ちしています！

## ●活動内容

来年度からの作品制作プロジェクトを前に、八戸市の古代から現代、そして未来に向かって繰り広げられている、人々のエピソードを取材します。八戸というまちを形づくってきた人びとの姿・風土・文化に関わりの深い物語を、9月～11月に行うインタビューを通して取材し描き出します。来年度の市制施行88周年にちなみ、88のエピソードを各800～1600字にまとめます。原則として、2人組で取材します。1組2～3のエピソードを取材し、まとめていただく予定です。

## ■応募資格

- 高校生以上（高校生は保護者の承諾要）
- 8～10月に行う「聞く書く講座」（参加無料）を受講できる方  
第1回 8/23(火) 第2回 8/24(水) 第3回 9/7(水)  
第4回 9/8(木) 第5回 10/20(木) 第6回 10/22(土)  
※時間は全回18:30-21:00
- 9～11月に取材を行い、12月までに取材内容を文章にまとめられる方
- 八戸市在住か八戸市の職場・学校に通っている方

## ■応募方法

○裏面の応募用紙にご記入の上、「わたしの家族に起こった感動の一瞬」をテーマにした400字以内の随筆を添えて、直接持ち込み、FAX、メール、郵送のいずれかにてご応募ください。

■応募締切 2016年8月8日(月)必着

■応募先 八戸ポータルミュージアム はっち

■募集定員 15名程度

■選考結果 応募者全員に郵送で8月17日(水)までにお知らせいたします。



わたしは食べもののエピソードを



里山にも興味深い話題がいっぱい



歴史をたどって物語を探す



船の話なしに八戸は語れない！



イカ、デコトラ…すべてが“レガシー”



# 八戸ものがたり掘り起こし 聞く書く講座

「聞く書く講座」は、取材やまとめ方に関する座学と、学んだことを実践してみるワークショップを交互に行います。座学で学んだことを実習して、実力を身につけていきましょう。

会場：5階共同スタジオ・2階シアター2



**1 8.23** 18:30-21:00  
**tue** テーマを見つける

ひとに読んでもらえる文章とは？そして、そんな文章を書くには、どのように取材したらいいのでしょうか？取材に当たって心得ておくべきポイントや、テーマセッティングの視点を学びます。

**2 8.24** 18:30-21:00  
**wed** 初めてのインタビュー  
ワークショップ

第1回講座を受けて、受講生同士で取材を実習してみます。9月から開始する取材について、取材先のご希望や先方との日程調整を行い、準備を開始します。

**3 9.7** 18:30-21:00  
**wed** 聞き出す・感じとる・伝える

どうしたらお話を相手から引き出すことができるのでしょうか？また、言葉には表せないことを感じとり伝えるために、おさえておくべきポイントはどんなことでしょうか？文章をまとめる極意を学びます。

**4 9.8** 18:30-21:00  
**thu** インタビュー準備  
ワークショップ

具体的な取材準備を行います。質問内容や想定しているテーマなどについて、グループワークショップで精査し合います。グループ編成、取材日程の確認、取材時の役割分担をします。

**5 10.20** 18:30-21:00  
**thu** まとめた文を磨く

取材後、まとめた文章を客観的な視点でブラッシュアップするコツを学びます。改稿するための大切なポイントを学んだら、実際に自分の文章に磨きをかけます。11月からは講師の鎌田さんに個別に添削指導をしていただきます。

**6 10.22** 18:30-21:00  
**sat** みんなで合評会

みんなで取材し、まとめた88の物語。多くの人に読んでいただける作品に磨き上げます。みんなで合評会をしながら、12月までに88作品を完成させます。(このあと、自主開催合評会を12月まで継続する予定です。)



photo 原瀬将嘉

第1回・第3回・第5回座学 講師  
コピーライター 鎌田高広

第57期宣伝会議コピーライター養成講座修了後、広告制作会社勤務を経て、1994年に「鎌田高広事務所」を開所。東北に密着した感覚を大切にしながら、幅広い制作活動を展開している。2008～2011年東北大学大学院環境科学研究科企画研究員。

最近の作品に、「今できることプロジェクト」[女川ポスター展] 串焼きたろう「ツイッター？やらないけどつぶ焼くよ。」、河北新報社「河北麻友子新報～河北麻友子の東北8つの物語」など。

第2回・第4回・第6回ワークショップ・ファシリテーター 吉川由美

はっち文化創造アドバイザー。八戸立体絵巻プロジェクト・ディレクター。これまで「八戸レビュウ」「八戸のうわさ」「デコトラ・ヨイサー！」「はっち流騎馬打毬」「はっち魚ラボ」など、はっちのプロジェクトをディレクションした。このほか東北各地でアートプロジェクトなどを多数プロデュース。宮城県南三陸町のきりこプロジェクトは2013年ティファニー財団賞を受賞。台本を担当した宮城県の観光PR映像「仙台・宮城 結び旅」は、[ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2014]にて観光映像大賞受賞。

## 応募用紙 「私の家族に起こった感動の一瞬」をテーマにした400字以内の随筆を添えてください。(様式は自由です)

フリガナ お名前		取材に 出かけやすい 曜日・時間帯		<input type="checkbox"/> いつでもよい <input type="checkbox"/> 月曜 ( 時～ 時頃)			
年齢	性別			男	女	<input type="checkbox"/> 火曜 ( 時～ 時頃) <input type="checkbox"/> 水曜 ( 時～ 時頃)	
職業				<input type="checkbox"/> 木曜 ( 時～ 時頃) <input type="checkbox"/> 金曜 ( 時～ 時頃)			
学校	学年			<input type="checkbox"/> 土曜 ( 時～ 時頃) <input type="checkbox"/> 日曜 ( 時～ 時頃)			
連絡先	住所	〒 都道 府県					
	TEL	携帯電話	FAX				
	E-mail	PCアドレスをお書きください。(ない方は携帯でも可)					
取材してみたい人・こと							
取材経験について	これまでに取材をしたり、原稿を書いたりした実績がある方は、具体的にお書きください。						
高校生の場合は保護者の方が右欄へ御記入ください。	私は、保護者として _____ が上記活動に参加申請することを内容を理解した上で承諾します。 保護者氏名 _____ 印 (参加者との続柄： _____)						

直接持ち込み、メール、FAX、郵送のいずれかでご応募ください。8/8(月)必着。

お問い合わせ・お申し込み

八戸ポータルミュージアム はっち4階 はちのヘスケーターズ係

〒031-0032 八戸市三日町 11-1 (担当：清水・岩館・榊原)

TEL 0178-22-8228 FAX 0178-22-8808 E-mail hacchi@city.hachinohe.aomori.jp